



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11 / 5

原爆についての基本的な知識は、映画や本で、なんとなく持っていました。でも、戦争を実際に体験した方からのお話は一度も聞いたことがありませんでした。原爆先生のお話を聞いて、原爆のおそろしさや人に与える怪我や病、その後の後遺症がよく分かりました。私がお話の中で一番印象に残っているのは、「ゆでたこ」のように真っ赤になった死体の部分です。熱くてたまらなくて、水の中に入ったのに、その水が一瞬で沸湯してしまい、死んでしまうということに衝撃を受けました。今、戦争を実体験した人の数がどんどん減り、戦争のことをよく知らない人が増えていることが問題になっています。私の曾祖母も、もう亡くなりました。原爆先生のお話を聞いた私たちが、これから伝えていかなければならないと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の授業を受けて原爆の悲惨さを知りました。僕は初めは原爆はそれほど強なかろうと思っていたが、こんなに強かったとは知りませんでした。僕が驚いたのは、国地方の代表の部隊で、人も多く、広島市の10%の人がこの原爆で死んでしまったことです。あの一日のこの原爆で、何人か立くも死んでしまったと信じられませんでした。原爆の威力がよく分かりました。お披露目(真三)で、初めて綺麗すぎると思ったことに疑問を持ちました。僕はその言葉はその人形は原爆を受けたときの被爆者には比べた綺麗だ、という意味であらうと思いました。あの悲惨な人形も綺麗というは、被爆者はもっと悲惨だったんだと思いました。僕は原爆先生の授業を受けて原爆のことを知ることができました。今でも3000人の命を奪って死なせた人々を思うと、怖くなってしまう戦争によるこのような原爆が起きたのなら、僕はこれからは絶対に戦争は起こしてはならないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆先生の特別授業を受講するまでは、「広島に原子爆弾が落ち、たくさんの被害があった」と、いうことくらいしか知りませんでした。しかし、この授業を受けて原子爆弾の威力や、原子爆弾がどうして広島や長崎に落とされたのかなどを、くわしく知ることができました。また、授業で原子爆弾が落ちた直後の紙屋町の写真を見た時、「全く何もない灰色の場所」で、とてもおどろきました。建物も、生物も、何もない…。そんな場所にしてしまう原子爆弾は、とても怖い物なのだと思いました。授業で一番印象に残っているのは、授業終了時刻5分前に見た、池田義三さんの実際に話している動画です。池田さんは動画で主に「現実と記録には、大きな差がある」と言っていました。私は最初、少し疑問に思いましたが、動画の話を聞いていくうちに、た「人」た「人」と理解することができました。これからも平和な世界が続いてほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

11/5

原火暴先生の言舌では、学校や^{じゅこう}塾で習う原火暴の言舌と比べて、とても詳しく、具体的な数字もたくさんあって、原火暴の大きさやすさまじさをリアルに感じることができました。たくさん生きている人や街の上におきたものとはとても信じられない、と感じました。

落とされたその当時の石皮壊だけにとどまらず、長く人々の健康に害を与え、たくさんの方の人生を無茶苦茶にしてしまったのだと思います。

僕は今、平和な日本に暮らしていますが、この先、日本の正政府がまちがった方向に進み、また再び戦争をするようなことがあれば、その先にはこのようなとりかえしのつかない石皮土壌があるのだと思います。日本だけでなく、世界のどの国にももう二度と原火暴が落ちてほしくないと思いました。遠い昔のことにして忘れてしまうことがないようになりたいと思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆の存在は知っていたけどよく知りませんでした。

今回、原爆先生の話を知りおどろいたことがあります。それはパラシュートに原爆をつけるのではなくラジオゾンデをつけるして落とすということです。私はパラシュートに原爆をつけていると思っていたのでとてもおどろきました。また、最後の方に言っていた被爆者については、男女の区別がつかない程焼けていたり、死体などをひき上げるときに皮がとれてしまったりしていたと聞いて原爆のこわさを改めて知りました。

私は前より原爆を知ることができました。だから原爆先生の話にもあった、原爆ドームや広島に行ってみたいなと思いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を書きいて、原爆は、人を傷つけるし、国が傷ついてしまうものだと思います。どうして原爆が投下したのでしょうか。

その時は、日本とアメリカが戦争(大太平洋戦争)をしていたからだと思います。

ぼくは、原爆のことはあまり興味はありませんでしたが、今日言古を書きいて、原爆の恐ろしさを改めて実感しました。

今、こうして平和に生きているぼくたちがいるのは、原爆のおかげなのかなと思います。原爆が、広島、長崎に投下して、国は戦争をやめるといったのだと思います。でも、原爆で亡くなられた人たちは、とても悲しいと思います。これからも平和の社会であってほしいです。原爆先生、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の授業を通して昔の人ほんとにも大変でつらい思いをしながら生きていたんだと実感しました。太陽より1000°あついで7000°の球体がおちてくるときってとてもびっくりしました。外にいる人は上から熱があたって一しゃんできえ、黒いかげのしみになるといっていて写真をみたときは、とてもこわくなりました。5人に2人がげんしほくたんで死んでしまうのは、とてもこわいし、きいているだけでドキドキしました。さうご、5分間のえいぞうを見たとき、義三さんがと中、泣きながら話している、とてもつらい、こわい思いをしたんだな、思い出すだけで泣いてしまうのは、とても悲しいことだと思いました。全身やけどにな。た人形が原爆資料館にあると、写真を見たとき手にかがはいらないような感じでしたので、実際体験した人しかわからないような痛み、悲しみなんだとすごく思います。原爆先生のお父さんは、すごいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

11/5

私は原子爆弾の威力に改めてこわいと感じました。
前から、原爆のことは知っていたけど実際の体験談をきくと
今まで思っていたよりもすごくこわいということが分かりました。
特に、皮ふかとして、はかれ、肉がみえるという話、皮ふか
はかれるという話を聞いた時はこわくてぞくぞくしました。それな
のに、お国のために兵隊として働いていた人たちは言葉で
あらわせないほどすごいと感じました。また、助けたくても
助けられないという気持ちはすごくつらいと思います。それで
もがんばった兵隊さんは本当にすごいと思いました。
さらに、太陽よりも温度が高い原爆が上から落ちてく
るとは、想像がつかないけど、そんなことが日本であ
たのだと考えると、やはり戦争はやめた方がいいと思い、
私か平和主義の日本にうまれてよかったと思いました。
原爆資料館にも、原爆のつらさがたくさん展示され
ているか、やはり体験者にとっては現実どおりに再現さ
れてないと思うことから、原爆は体験した人でないと本
当の原爆のつらさがわからないのだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

い/5

私が広島に初めて行った時は、小4の夏でした。
その時、まだ私は、原爆チームの大切さをまだ知りま
せんでした。

今回、この大切さに改めて気がきました。
戦争の悲しさ、原子爆たんの怖さ...。改めて
気づかされたことはいっぱいありました。
特に、義三さんの映像を見て、涙がこらえきれ
ませんでした。

ひばくしている人だからこそ分かる思い。

ひばくしている人が広島に行くのは、大変だと思
いました。戦争で死んでしまった人々の
もうしおけない気持ち。悔せんでも、悔やみ
きれない事実。もう、戦争は嫌だ。そう気持ちか
一気にこみあげてくると思います。

泣きながら話してくれた義三さん。

私たちが後世に語り継ぎ、義三さんや原爆で死
んでしまった人達の思いを伝えていくことが大切だ
と思いました。

もう戦争は、全体あてはならないということ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は原爆先生から原爆のお話を聞いて、最初は原爆の事を、ニュースなどでしか見たことがなかったので、原爆について深く教えてくださりありがとうございました。あらためて原爆のおそろしさを感じました。特に先生のお父様が九日間ずっと広島でっらい思いを言葉にもしきれないくらいな事があったというところが一番私の心に残っています。その中でも、たくさんのきせい者をせおって、何度もはこんでいるということを知った時、私は原爆はこんなにもたくさんの人々の命を一しゅんのうちにうばっていくなんてと、とてもかなしみました。そしてこのことをもってたくさんの人に知ってもらいたいとも思いました。

原爆についての事をたくさん教えてくださりありがとうございました。この日教えてもらった事を、ずっとおすれません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

11/5

- ・原爆ドームや原爆資料館には行ったことが無いけれど、教えてもらった話を聞いただけで、とても悲しい出来事だったんだなと感じた。
- ・今ふつうに生きて、学校に行ったり、習い事をしたりしているのは当たり前じゃないと思った。
- ・原爆が起ったときのことを語り継ぐ人が少なくなっているので、将来語り継いでいきたいと思った。
- ・原爆の表面温度は太陽の表面温度よりも1000℃も高く、びっくりした。
- ・原爆を投下する場所には条件があったことにおどろいた。
- ・広島と長崎しか原爆は落とされてないと思っていたけれど、小倉というところにも落とされていることを初めて知った。
- ・当時の元安川を思いうかべると、とても悲惨で残こくなものだったと思う。
- ・義三さんが体験したことは、たくさんの人に広めていくべきだと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して思ったことがあります。

一つ目は空襲の時のための防火水そうについてです。爆心地の近くはあまりの衝撃で遺体すら残らないと知ってとてもおどろきました。「たいたいの防火水そうの中にはひさをかかえた状態の遺体があってどの水そうも遺体のこしあたりまでしか水がなかった。」と初めて聞いたとき「何でだろう」と疑問に思いました。原爆先生が「火傷をおった人々が体を冷やそうとして防火水そうに飛びこみ、その体のあまりの熱さに水が一しゅんにして蒸発してしま、たのかもしれない。」とおっしゃった時、私は「本当にそんなことがあるのか」と思いましたが、でも後々原爆の威力について知って「本当に蒸発したんだ...」と思いつつ、然としてしまいました。

二つ目は原爆が爆発した時についてです。中心の温度が100万℃、表面の温度が7000℃と知ってとてもおどろきました。100万℃なんて想像すらできない温度だし、地球に100万℃の空間ができたなんて「信じられない」と思いました。7000℃は「まあ原爆はすごいねー」と初めは思ったのですが「太陽の表面の温度より1000℃も高い」と言われ「ミニ太陽が落ちてきたんだ...」と思いました。

私は原爆先生の特別授業を受講して原爆のおそろしさについて改めて知りました。この事は次の世代にも必ず伝えるべきだと思いを